

平成28年
2016
No.336

けねへつ

JA広報



謹賀新年





謹賀新年

計根別農業協同組合

信用事業担当理事	理事兼務参事	監事	監事	代表	代理	代理	代理	代理	代理	副組合長理事	代表理事組合長	
職	中	佐	浮	安	影	須	本	北	石	柵	太	西
員	瀬	藤	中	齐	山	崎	田	村	毛	木	田	塚
一		良	喜	宏			芳			真		秀
同	満	文	佐	一	孝	智	明	篤	剛	夫	誠	夫



年頭ご挨拶

新年明けまして、おめでとうございませう。組合員の皆様には、ご家族共々ご健勝で輝かしい新年を迎えられていることと心からお慶び申し上げますとともに、旧年を問わず、日頃より当JAの事業運営に對しましてご指導・ご支援・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。さて、当JA地域の昨年をふり返りますと、3月初旬の中標準津町で観測史上最高となった豪雪、8、10月の各月上旬に集中した暴風雨、11月末の落雷等により農業用施設・住宅等に多くの被害を蒙りましたが、春先に若干の生育遅れがあった一番草は例年より一週間ほど早い収穫となり、デントコーンにあっては台風による倒伏・折損で若干早い熟期の収穫・収量減があったものの、総じて質・量とも昨年並みの粗飼料確保が出来たと思っております。また、直近の生乳生産量は前年対比102.3%以上で推移しており、このことは、組合員皆様の生産維持のために続けてこられた地道な努力と、ここ数年来取り組んで参りました各地域に建設された3ヶ所のTMRセクターの構成員及び利用者と公社営施設整備事業(1戸)・畜産収益力強化対策(クラスター事業・1戸)をはじめとした規模拡大を目標とした投資された方々及び新規就農者の営農開始による増産の成果であります。加えて、乳代単価(プール乳価)においても3年

間で約10円高くなり個体販売価格も高値で取引され生産資材価格が高値で推移しているにもかかわらず、近年になく安定した営農年度となったものと感じております。本年は、各種関連対策(①仔牛の損耗防止対策・②乳牛の供用期間延長や暑熱対策・③爆弾低気圧で被害を受けたデントコーンの調達支援・④酪農ヘルパー対策)を含めて実質24銭値上げされた加工乳補給金単価も、昨年と同様に、対策を受けなければ引き下げとなります。また、次期「酪・肉近代化方針」の推進と地域ぐるみで収益性を向上させる目的で立ち上げましたクラスター事業が、昨年9月に政府が大筋合意をしたTPP(※農業者として合意したTPP)の関連政策(総合的なTPP関連政策大綱・平成27年11月)に組み入れられ、当初から事業実施要望額に満たなかった予算額を基底的な予算とし、あらかもその対策として平成27年度補正予算で積み上げしたかのように見せ、牛肉等の関税益で受けてきた助成・補助金を農林水産予算で補い成長産業化を一層進めるために必要な戦略・政策は本年度秋に具体的内容を詰める事としていますが、協定発効後の影響が現状と比較してどこまであるのか、加えて、本年度中に検討されるであろう、生クリーム等の液状乳製品の加工原料乳補給金制度への繰り入れ(補給金の一本化)についても(補給金

値下げの中)先が読めない情勢でありますので国に對し、再生産が可能な安定した経営が維持出来ることを基本にした要請をおこなって参ります。次に、次期生乳生産計画についてであります。今までの余乳発生年は一時的減産対策を実施したが、その後遺症として以後数年間に亘り搾乳牛増頭・生乳増産が停滞したという反省をふまえ、余乳が発生した場合でも減産対策をとらずに出金によりバター・脱脂粉乳に委託加工し販売すること前提としましたが、全道で前年比103%とした生産計画を達成するには各JAの現確な生産計画の積み上げが基礎となります。余乳発生年の計画の超過は従来どおりペナルティを課す事と計画未達の場合の処遇についての具体策を本年度に検討・実施する事となりましたので、生乳生産者皆様の正しい生乳生産計画の樹立をお願い申し上げます。

国政においては、参議院議員選挙の年であります。安倍総理をはじめとする中央政府・与党幹部は生産者の声に耳を傾けず経済界代表や新自由主義学者を重用し官邸主導で、私達が強い不満と不信感を抱いている点を解決しないまま何があってもその政策を強引に押し通して参ります。「地方創生」・「TPP交渉」・「農業、農協改革」等大きな課題を抱えた地域・生産現場の中にあつて、与野党を問わず全道で立候補される候補者の農業政策方針・言動に耳を傾け、地方・農業・JAを理解頂ける参議院議員を国会に送り出せるよう、組合員の皆様・地域住民の皆様にはなお一層のご支援ご協力をお願いします。当JAの独自対策として、営農規模拡大支援対策・生乳生産拡大支援対策は本年をもって終了し翌年度からの対策について検討をしなければなりません。対策費用はここ数年の額を基準に根拠酪農ビジョン(目標平成30年)にかかげた、草地更新率・10%/年・新規担い手確保率・80%/年・生乳所得30円/kgの実現及び第二八回JA北海道大会で決議された農業所得20%増大・道民550万人と共に創る「力強い農業」の実現にむけて地域の生産力と所得増大及び組合員戸々の努力軽減を図って参りたく、施策等をくみし事業展開を図って参ります。酪農は、まだまだ拡大し成長出来る農業であり、担い手の方々が夢をもって頑張れる産業です。先行き不透明な情勢もありますが、協同組合精神の基で決して悲観せず、皆様とJAと一緒に参りながら、皆様のJAが一緒になって地域を育み生気のある農協事業運営に努力して参りますので、一層のご理解・ご指導をお願い致します。結び、本年が、皆様とご家族一同がご健勝であり、また、地域・JAにとつて豊饒な一年であることをお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



「年頭にあたって」

代表理事組合長 西塚 秀夫





年頭ご挨拶



平成28年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長

飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年の北海道農業は、一部地域において暴風雨被害が発生するなどの影響がありましたが、全体的にはおおむね順調な作柄となりました。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

さて、昨年の11月11日に、組合員やJA役職員等、関係者の方々の参加のもと、第28回JA北海道大会が開催されたところです。

「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」をメインテーマとして、向こう3か年にわたるJAグループ北海道の対応方針を確認いただきました。

組合員・JA・連合会・中央会が、各役割を再確認した中でJAグループ北海道の英知を結集し、基本目標の達成に向け取

り組んでいくとともに、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指すこととしております。関係各位の理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

平成27年は、農協改革法案の成立、TPP交渉の大筋合意など、我が国の農業・JAにとって極めて大きな情勢変化があった一年でした。

農協改革については、その主要な目的でもある法改正と農業所得向上の関連性などについて、いまだに十分な理解が進まない中、准組合員制度のあり方や監査の仕組みなどの重要案件が今後の検討課題となっており、改めて地域農業の振興や農協経営への影響がないよう、政府に対する働きかけを含め、関連する取組みを進めていく必要があります。

一方、TPP交渉に関しては、交渉参加12か国の閣僚会合を経て、昨年の10月5日に大筋合意がなされましたが、守秘義務を盾に交渉に関する情報開示や国民的議論がないままに、大筋合

意という結果に至ったことに対して、強い憤りを覚えるところ

です。今後、通常国会においてTPP交渉に係る国会審議がなされる予定ですが、改めて、政府並びに各国会議員に対して、今回の合意内容の全容と影響、さらには国会決議との整合性について十分な説明責任を果たすとともに、生産者の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応がなされるよう強く求めていく必要があります。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

我々農業者・JAグループは、その責任感と自負心のもと、改めて協同の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていくとともに、農業・JAに対する幅広い理解と共感を得る取組みを積極的に進めながら、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びに農業協同組合の基盤をさらに発展させ、後世に継承するよう、ともに頑張りようではありませんか。

今年の干支は申年（さるどし）です。

一説には、申は、伸ばすという意味があり、「草木が十分に伸び、実が成熟していく時期」を表しているとのことでもあります。

今年は、この申年にあやかり、天候に恵まれ実り多い充実した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってご挨拶いたします。



年頭ご挨拶

皆様方におかれましてはそれぞれの思いのなかにも健やかな新年を迎えられたことと拝察し、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと「安倍一強時代」に踊らされ振り返り回された年であったような気がします。やはり8月28日に成立した「改正農協法」と10月20日に大筋合意内容を公表した「TPP」は両輪であったと判断せざるを得ない。

前者は、J Aの事業目的に「農業所得の増大」を明記し「農業の成長産業化」に向けてJ Aグループに改革（農協を骨抜き）を促し、食の安保を放棄し食産業をもグローバル化する狙いであり、後者はグローバル経済に向けて国境の不鮮明化（日本を骨抜き）を図る狙いで、生命産業（食から医療）も含めた「経済侵略戦争」誘導への序章であると思えない。

「農業の成長産業化戦略」海外市場戦略は一見国民受け、農民受けしそうですが、国民に対する食料の安心安全供給、内需を基本とした食料自給力向上の観点からも程遠い。国益を優先としているが、その国益も意

味不明。日本の極一部の多国籍企業として、その主たる生産拠点は生産費の高い日本ではなくなってきたり、多くの多国籍企業の資本と税金の安い、若しくは無い、タックスヘイブ（租税回避地）と呼ばれる国々に眠っている額も多いと言われている。どれもこれも「目晦まし」されているだけだ。

また、オバマ大統領は3年前、TPP交渉参加前に自国民に対して、TPP参加により200万人の「雇用創出」を明言し理解を訴えた。その煽りを受けるとは日本の「雇用喪失」のような気がしてならない、安他の国籍労働者の流入も含めて、あの郵政を民営化した小泉元首相にあっても「安倍政権は全部強引」と批判しているという始末である。（TPPを指している訳ではないが）

一方、我が国の農業団体の対応も一寸寂しい気がする。先ず「TPP批准反対」を前提としての姿勢が必要ではないか。食料安保という大義が見えなくなってきた。TPP議論の焦点が国内対策に移ってしまったがそれとて「目晦まし」

だ。また、「TPPによる産業構造、経済変化は施行後現れることだから、その時になって考えればいい」というのがTPP賛成者の政府、国民の大勢とも言える。高官が現にいと聞く。絶対に「目晦まし」の農業予算が恒久的に続く訳がない、財源の根拠が乏しい。グローバル社会は中小の家族経営をジワリジワリと離農に追い込み、結果、後継者不足云々と農業関係者のせいにするのは目に見えている。何れにしろ、「農は国是」となるまで粘り強く訴求せねばならない。

そんな中、表題を3年続けて同じくしました。前述した憤りとも地域を守らなければならぬ、その思いを確認したい一心で。

先人が鍬を入れ、孜孜営々（ししえいえい）と現在の礎を築いて頂いた地域の資産価値の毀損を防ぎ、地域コミュニティを守る、その強い思いで協同の力を発揮して行かなければならない。先人の蓄積を無にしてはならない。

暮れの12月上旬までの乳量は前年比103.5%（現生産者）にあっては105.7%、一

昨年比101.6%と回復の兆しが見えています。その背景は、種々の営農支援策もあると思いますが、なんといいながらも、3カ所のTMRセンターの効果が大きい。3センター構成員の前年比は108.9%。正に限界化していた家族労働対策としての分業化効果と言えます。地域の家族経営を維持していくためには、あと2カ所望みたいところです。農協としても支援して参りますが、「農地利用集積推進会議」を起点としたポトムアツプ（皆さんのやる気）が本筋です。補助事業ありきではなく、順序としては地域復興・振興への強い思いが先です。その復興・振興計画の積み上げがあった各種補助事業の予算要求・政策要求の根拠となっていくますので少しばかり急ぎます。みんなで頑張りましょう。

結びにあたりまして、今年こそは天候をはじめ生産環境が穏やかな一年であって欲しいと願いますとともに、組合員の皆様のご健勝で過ごされ一つでも喜びの多い年になることをご祈念申し上げます。



「目指せ十万吨、二万頭」パート3

参事 佐藤良文



年頭ご挨拶



平成二十八年の年頭にあたり

J A 計根別青年部 部長 鹿野亮平

新年明けましておめでとうございませう。

組合員の皆様をはじめ、農協、各関係機関の皆様におかれましては、旧年中より青年部の活動に対し、多大なるご理解、ご協力を賜り、青年部を代表して心より感謝申し上げます。

また、青年部員の皆様におかれましては、日頃より積極的に青年部活動に参加、運営して頂きました事、厚くお礼申し上げます。

昨年の4月より青年部長という大役を久保部長より引き継ぎ、平成27年度を駆け抜けて参りました。不安を抱えた中での部長としてのスタートでしたが、自分ののだらしなところや苦手な部分を他の三役や役員のみならず

が全てカバーしてくれて、ここまで無事に青年部活動をする事ができました。本当に助かっており、感謝しております。

現在在籍している部員49名は本主に1人1人がしっかりとおり、何でも意見を出してくれます。良いときも悪いとき（笑）もありますが、自分の中では、全員が楽しく、遠慮なく本音で会話する中で、結果良い方向になると思っておりますし、今の青年部ではそれが良く出ていると思っております。

そんな部員たちが集まったおかげで、昨年はスポーツ交流会として『青年部大運動会』を開催。遠慮なく意見を挙げてくれた結果、今までやったことのない

斬新な活動を、多くの部員が参加したなかで楽しく、怪我なく実施する事ができました。

広報の面でも広報部会員の斬新なアイデアとユーモアで、活動に参加した部員にインタビューを行ったり、私の専用コーナーを設けてくれたりと大変賑やかになっております。

また、青年部として大きな事業でもあります乳製品お歳暮事業も、部員の意識も高く、例年より正確さを増し、きれいに詰込み、発送ができました。お歳暮事業については、お歳暮部会員を配置し、何度も集まってくれ、企画、準備を行ってくれました。部会員の負担は大きいですが、出てきた部会員の達成感やみんなでやり遂げる事のつら

さや楽しさが自分は好きです。そんな達成感を今年も味わいながら1年を無事に部員みんなと走り抜けて行きたいと思う今日この頃です。

社会的にはT P P 大筋合意という私たちの生産活動や生活を根元から見つめ直さなければならぬ問題を突き付けられています。

今まさに若い青年部の力が試されるときだと感じております。私達青年部はつながりを大切に、どんなことにも揺るがない地域の地盤を創っていききたいと思っております。

結びになりますが、本年も青年部に対しましてご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶と致します。



年頭ご挨拶



二十七年度を振り返って

JA計根別女性部 部長 長谷川 希美

新年明けましておめでとうございませう。

組合員の皆様におかれましては、本年も輝かしい新年を御家族の皆様とお迎えのことと存じます。

昨年も女性部活動に対し各関係機関の皆様にご理解とご協力をいただき心より感謝申しあげます。

さて、昨年を振り返りますと爆弾低気圧による豪雪、強風の被害にあう散々な年明けから始まり、夏の大雨。デントコーンの収穫時期には強風に倒され、異常気象に悩まされた年ではなかったでしょうか。

そして、世間では、消費税が8%に上がったにもかかわらず、景気が良くなってきたと盛り上がっていますが、私たち酪農家には未だに「ピン」ときてない

ですよね。

何とか、今年は穏やかに過ごせるように願っています。

27年度の女性部の全体活動ですが、6月の日帰り研修ではバスで小清水の「ほがじゃ」の工場見学と清里の道の駅「パパスランド」さつぷるで昼食をとり、雨降りにも関わらず、帰りに「神の子池」に寄って帰りまし

た。天気は悪くてもバスの中は大盛り上がりで、楽しいひとときを過ごしました。6月17日には午前中にミニバレー大会、午後から女性部の花見をしました。ミニバレーでは、青葉はフレッシュに勝てませんでした。声と気合はまだまだ負けてなかったです。

7月お中元、11月レディースフェスタ、そして、11月30日から12月3日まで女性部60周年記

念事業視察研修で「沖縄県」に行ってきました。バスガイドさんがとてもおもしろい方だったので楽しく周ることができました。

三層活動でフレッシュは、「お茶しませんか?」で別海のカフェトランクでパンケーキを食べに行き、秋にはB&Wショウでは恒例のカレー作りやUVレジンアクセサリー作りを行いました。

青葉会では、フレッシュと同じお店で昼食交流会、計根別そば祭りでは、そば粉を使ったり、ゴ入りパウンドケーキを提供しました。そして、今年の2月に料理講習会の予定です。

緑会では、トヨーグランドホテルで昼食交流会や西春別パークゴルフ交流会を行い、さらに7月下旬の暑い日にストリ

ングチーズを作りました。2月にはおひな祭りを予定しています。

この挨拶文を書きながら、緑会のパワフルな活動を改めて感じ、我々も続かねば、と思いました。

少し話は変わりますが、私は11月にJA北海道大会に参加させていただきました。大会では、話を聞くのに精一杯で、わからない事が多くて、改めて、女性が参画するには大変な事なんだと感じました。

最後になりましたが、今年は皆様にとって、良い年となりましたように、心よりお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



年頭ご挨拶



年頭のご挨拶

根室農業改良普及センター北根室支所 支所長

平林 清美

新年明けましておめでとうございませう。旧年中は農業改良普及センターの活動に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。また、組合員のご協力のおかげで、また、組合員の皆様、ならびにご家族の皆様にとりまして、本年が素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

昨年は1月中旬より毎週のようには暴風雪に見舞われ、日常の管理作業への影響はもとより、集乳を始め、TMRや飼料の配送、診療や授精、ヘルパーの派遣などに支障を来し、酪農経営にとって冬期間のサービスラインを確保することの重要性を痛感させられたスタートとなりました。また、4月以降も、気温や降水量、日照時間の変動が大きく、家畜や飼料作物へのストレス増大、強風や豪雨落雷に

よる施設損壊、停電、ほ場の冠水や表土の流亡、サイレージ用ともろこしの倒伏など多くの気象被害に直面しました。

そのような状況の中で、牧草については、2番草で雨不足の影響を受けたものの年間の乾物収量の平年比が96%と、まずまずの収量が確保されました。サイレージ用ともろこしでは、病害の発生が少なく、乾物収量で平年比108%、TDN収量が平年比109%と良好な実績が得られました。収穫直前の台風による倒伏の影響で、収穫ロスの発生とともに発酵品質の低下が懸念される状況となりました。

生乳生産は、冬期間の悪天候にもかかわらず、廃棄は最小限に留められ、前年実績を大きく上回り回復傾向にあります。少しでも多くの生乳を出荷しよう

とする生産者、JA職員他関係者の皆様の強い思い入れと意気込みを感じました。

さて、日常的な課題に加え、TTPの大筋合意を受け、当地域の農業も大きな変化に直面しようとしています。課題や変化にうまく対処するためには応用力が必要とされますが、応用力を養うためには、しっかりとした「基本」の上に積み上げられた「経験」がものをいいます。

先行きを見通しづらい昨今の状況ではありますが、自分なりの目標を持ち、目標を達成するために何に取り組むのか、取り組んだ結果どうなったのか、結果を踏まえさらにどうするのか、その繰り返し「判断」を迫られる事態に感じる力量を高めることにつながると思います。

計根別地域では、新たなTMR

Rセンターの設立、積極的な新規就農者の受け入れ、イヤークリーン栽培への挑戦、関係機関が連携した農場個別巡回など、地域農業の将来を見据えた様々な取組が展開されています。その中で、生産者の皆様、ならびに私共も含めた当地域の農業生産に関わる者全てが、それぞれの目標を持ち、今年一年、目標達成に向け邁進できますよう、そして個々の目標達成が、地域活性の大きな力の源となりますよう、農業改良普及センターも微力ながらお役に立ちたいと考えています。

結びになりますが、本年も丁Aけねべつにとりまして稔り多い一年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

女性部60周年記念事業

沖縄視察研修旅行



11月30日から12月3日まで、女性部員9名と事務局で沖縄県へ行ってきました。

初日は韓国でも今話題となっている万座毛に行き、その絶景を堪能しました。

2日目はナゴパイナップルパークや古宇利島、琉球村、美ら海水族館に行き、沖縄ならではの食べ物や生き物、生活の違いを実際に見て学びました。

3日目はおきなわワールドで琉球ガラスづくり体験、その後に各自自由行動をして沖縄の街を散策して回りました。沖縄のスーパーに行き、北海道ではなかなか見られない商品を見る人や、沖縄ならではの技術で作られた工芸品を見て回る人もいました。

最終日は首里城にて沖縄の歴史を学んだ後、帰路につきました。

この4日間を通して、年代や支部を越えた交流が出来たように感じました。移動距離が長い中でも皆さんの笑い声が常に聞こえ、どこにいても皆さんらしさが溢れている、そんな楽しい研修旅行となりました。

《事務局 中野係》



万座毛の絶景とともに



懇親会は毎晩大盛り上がり!



琉球村の芸達者なおばあさん



「あ、柔らかくて気持ちいい」



花より私の方がイイでしょ?



これが本当の看板娘??



首里城までの険しい道のり…?



慎重に整えております…

2016申年



組合員さんと職員のご家族の年男・年女の方に今年の抱負などを語っていただきました。
★マークは8回目の申年を迎えた方です。

東部地区



学力テストで百点とりたい！

バイリンガルになる

(中計根別)

桜井 源輝さん・桜井 拓矢さん



(西竹)

長谷川希美さん

今年は整理整頓したいです！



(西計根別)

二瓶 征夫さん

元気で仕事や楽しみを頑張りたい



(西計根別)

本田 晃太さん
(敏明さん)

ロボット牛舎を手伝う！



(中計根別)

葛西 由香さん

マイホームがほしい！



(東養老牛)

遠藤 裕子さん

健康で仕事を頑張りたい

西部地区



(東西竹)

須崎 智さん

大声でがんばる。



(西竹)

深瀬 信孝さん

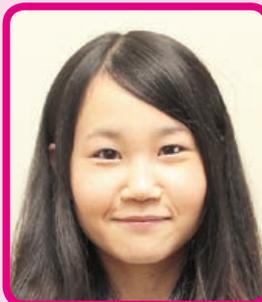
元気でがんばります。



(酪進)

浮中喜佐夫さん

健康第一で頑張る！



(金融共済部)

福本 留未さん

笑顔で幸せを呼び込む。

職員





(共進)
加藤 加奈さん

健康で楽しく過ごせますように



(大麻)
斉藤隆三郎さん

今まで生きてきたことが儲けもの



(中本別)
熊坂 末松さん

健康、そして釣りバカ



(常盤)
佐久間 忠さん

健康でがんばります。



(常盤)
佐久間孝市さん

色々な一年にしたい。



(大成)
渡辺 イエさん

まだまだ畑を頑張りたい



(中本別)
中垣 博志さん

健康で楽しく頑張る。



(中本別)
中村 勝彦さん

健康第一!!



(中本別)
安斉 宏一さん

イメチェンしようかな。



(中本別)
赤池 佑介さん

今年ひげをのびします。



(北本別)
五月女利治さん

ゲートボール、釣り、植木をやりたい



(北本別)
相沢 元希さん
(栄治さん)

サッカーを頑張る!



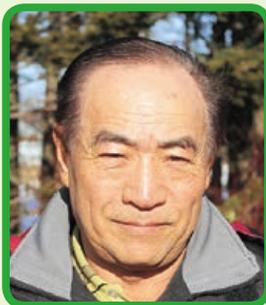
(南本別)
林 理恵子さん

健康で一年頑張つて働きます!



(中本別)
北村 壮さん

申年にボードですべり赤くなる。



(北本別)
根岸 義輝さん

今年も健康で頑張りたい



(酪進)
白川 優斗さん
(友美さん)

ピッチャーで沢山ストライクをとる!



(酪進)
穴戸トヨ子さん

今年もおいしい野菜を作る



(酪進)
鹿野 亮平さん

ダイエットは明日から...

脱着式 牛保定枠場
「ころさく」の紹介

今回ご紹介するのは、脱着式枠場「ころさく」です。

枠場は獣医師に蹄治療を受ける際や採卵などの際に活躍しますが、老朽化していたり、牛の大きさが合わなかったりする場面がたびたび見られます。この度、「ころさく」を身近に見る機会がありましたので、ご紹介したいと思います。



「ころさく」は数年前まで別海町で活躍しておられた阿部紀次獣医師によって発案されました。「ころさく」と枠場を転がし「さくさく」と仕事ができる、というところからネーミングされたそうです。その名の通り、この枠場は移動式です。枠場へ牛を連れてくるのではなく、枠場を牛のところへ移動させます。材質も軽量の素材できており、パインクリーナーをまたがなければいけないような繋ぎ飼いの牛舎でも使用できます（※牛床の長さとは幅は要確認）。足が痛くてなかなか歩いてくれない牛や、枠場に入ることが怖がる牛には大変便利な枠場ですね。2012年に酪農ジャーナルに紹介



されてから順調に需要を伸ばしているそうです。Youtubeで「ころさく」と検索すると、実際に使用している場面の動画をいくつか見ることがができます。老朽化してきた枠場の買い替えにいかがでしょうか。気になった方は営農部まで☆

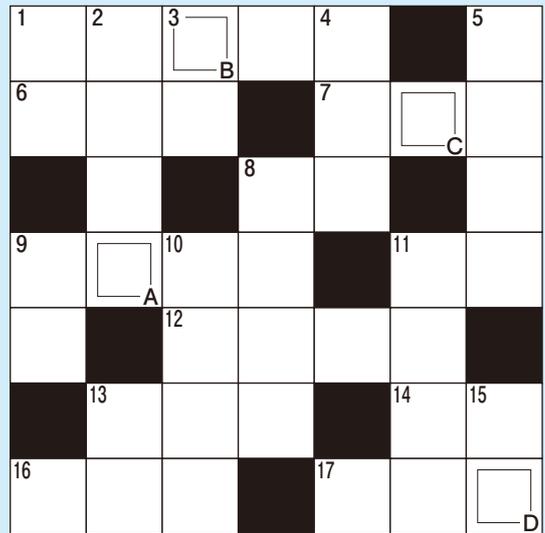
【タテのカギ】

- 1 人間は「考える〇〇」と、パスカル
- 2 楕円形に束ねた形が似ている〇〇〇〇だわし
- 3 〇〇服はそのとき一回だけ服用の薬
- 4 〇〇〇愛は母が子に対する本能的な愛情
- 5 炒めた野菜をたっぷり入れた中華そば
- 8 よく調べた上で受け取ること
- 9 日中に火をともしても役に立たない、〇〇あんどん
- 10 両手を背に回すこと
- 11 あるがままでなく、わざとらしい様子
- 13 野生動物並に冴えている！
- 15 つてや縁故、手づる

【ヨコのカギ】

- 1 夕焼け空に飛んでいる昆虫
- 6 まわりじゅうを敵に囲まれ〇〇〇楚歌
- 7 ラッキー〇〇〇で縁起の良い数字
- 8 あと戻りはできない、〇〇は投げられた
- 9 スペースシャトルで活動する宇宙〇〇〇〇
- 11 〇〇骨砕身、力の限り努力します
- 12 〇〇〇〇一貫、初めから終わりまで変わらず
- 13 働きすぎて疲れすぎ
- 14 ことのよし悪し。道理にかなう、かなわない
- 16 競技などの負担条件や不利な条件
- 17 テストの前日、一夜漬けてまる〇〇〇

クロスワードパズル



●正解者5名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

《応募方法》左下の点線の部分を事務所内（販売機横）の投書箱へ。または、組織広報係までFAX（78-2556）お願いします。

《締め切り》平成28年1月20日まで
12月号、1月号の当選者の発表は広報「けねべつ」2月号誌上



きりとり線

クロスワードパズル

住所 _____

氏名 _____

TEL _____

答え

A B C D

「つぶやくべえ〜」へ投稿する

(ペンネーム _____)

営農部広報担当より



新年明けましておめでとうございます。いつも広報「ねべつ」をご覧頂き、また日頃より記事作成へのご協力、クロスワードパズルへの応募、「つぶやくべえ〜」への投稿、誠にありがとうございます。十二月号と一月号のクロスワードの抽選結果は二月号に掲載しますのでご了承ください。

さて、今年も広報「ねべつ」は地域に根付いた魅力ある広報づくりを目指します。地域のイベントや記事にしてほしい物事等ありましたらお知らせ下さい。また、農協カレンダーに使用する計根別地域の風景写真や、いい撮影場所があるという情報提供もお待ちしております。営農部広報担当の深見・渡邊までお気軽にお声掛け下さい。

さる貯金箱、金融で販売中です（2千円）



きりとり線

12/13日 親子餅つき大会



かいっぱい「ヨイショ！」

中標津町文化スポーツ振興財団主催の親子餅つき大会が例年どおり計根別の交流センターで開催されました。つきたてのお餅を“雑煮”や“あんこもち”など色々な味にしてふるまわれ、「まだまだ食べられる～！」と大人も子供もお腹いっぱい美味しく頂きました。



お餅すき？「もちろん！」



「どれにしようかな？」

